

酷暑、乾燥気候の再来

アフガニスタンは突然夏の陽射しとなり、本日6日からラマザン（断食月）に入りました。

数日前までは、連日の雨で、河川も洪水の濁流でしたが、嘘のように清流になっています。

●カチャラ堰流域（マルワリードⅡ）の進行は以下の通り；

1. 堤防；0-3.6 kmまでの天端舗装終了、現在3.6-8.0 km間のかさ上げ中、8.0 km地点（ベラ村）で4月20日洪水浸入（幅約80m）が発生、急きょ閉塞した。
2. 排水路；排水路1、約1600m地点までを完了、現在柳枝工を行っている。6月までに排水路2（約600m）を完了予定。
3. 交通路；主幹用水路0-3.2 km両岸を舗装完了。コーティ分水路沿い及び排水路1に現在舗装中。
4. 用水路；0.9-1.5 km区間川側の二段目ふとん籠工を完了、現在植樹を行っている。

8.5 km地点の河道整備が堰に匹敵する工事として石材を大量に蓄積中。今秋までに調査を終えて11月より取りかかる予定。

●シギ排水路

1.9 km中1.4 kmまでの交通路敷設完了。450m地点までのライニングを施工中。U字溝の生産態勢が軌道に乗る。

●バルカシコート護岸

4月20日の洪水で旧取水口付近に浸食が著しく、村落を脅かす。4月22日より2週間緊急工事を実施、約200mに護岸を施した。

●カマ堰

増水期の観察中。冬期の工事シーズンが去ったばかりですが、次の冬に向けて準備が始まっています。今のところ、今冬は次を予定しています。

●今冬の予定河川工事

①マルワリード堰+カシコート堰 ②マルワリード用水路1.6-4.7 km再ライニング ③カマ第一堰対岸最終仕上げ
洪水が引いて、河周りも少し落ち着いています。最大の物量はやはり堤防です。後にまとめて報告します。

2019年5月7日

カチャラ（マルワリードⅡ）堰の現在。PMSの堰の中で最も安定水位を誇る。河幅が広く（約1km）、分流が多数あり洪水による溢水の影響を受けにくいからであろうと思われる。用水路、護岸沿いの樹林が目立ってきている。2019年5月5日



主幹水路 0.9 km - 1.5 km 区間の用水路右壁の籠積みが残っていたが、4 月末までに終了し、更に植樹（柳枝工）が行われている。2019 年 5 月 5 日



調節池Ⅲの現在。ダラエヌール（ケシュマンド山系）の雪線が上昇しているのが分かる。2019年5月5日



カチャラ堰流域の排水路 1 (約 1100m地点)。調節池 I の排水だけでなく、夏期はスレイマン山脈の鉄砲水の排水路でもあるので、十分に強靱な作りを目指している。類似の排水路で最も成功しているのがミラーンで、巨礫を斜面根方に敷き、密な柳枝工を行う自然工法を施工中。2019年4月29日



同末端（1600m）の地点。度重なる洪水浸入で荒れ、湿地化していたが、排水路の設置によって、徐々に耕作地に戻っている。2019年5月5日



同 8.0-8.5 km地点をベラ村側から見る。対岸ミラーンの堤防。彼方にスピングル山脈。2019年5月5日

